**小売業の店舗における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドラインに基づくチェックリスト**

日本●●●●協会

このチェックのリストは、小売事業者が「小売業の店舗における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン」を踏まえて対策を適切に実施しているか自ら確認を行い、その結果を「見える化」するため、ポスターにより当該店舗・施設が感染拡大予防対策を実施している旨を表示することにより、お客さまの理解・協力を得ることを目的としています。

～　３つのチェックボックスをすべてチェックできた場合は、ポスターを掲示してください　～

１．店舗における感染予防対策

□以下の取組み例を踏まえつつ、店舗の実情に応じた対策を講じることにより、店舗における感染予防対策に取り組んでいます。

**《ガイドラインに記載されている取組み例》**

・レジ前や入店前等で可能な範囲で距離を保つようにお客さまに掲示・アナウンスを行ったり、床に列に並ぶ際の目印を付ける等の取組みを行っている。

・従業員に対するこまめな手洗いや手指の消毒を励行したり、必要に応じて手指の消毒設備を設置等してお客さまに手指消毒の励行を呼びかけている。

・買物カゴやカートのハンドル部分、扉の取っ手等、お客さまや従業員が手を触れることが多い箇所・機材等の定期的な消毒等に取り組んでいる。

・透明間仕切り等の設置やコイントレーでの現金受渡しの励行等、レジ前での従業員とお客さまの接触機会を減らして飛沫感染を防ぐように取り組んでいる。

・窓やドアを定期的に開放等して室内の換気に努めたり、換気設備を適切に運転・管理して店内が換気の悪い密閉空間とならないように努めている。

・商品の陳列等を工夫したり、惣菜・ベーカリー等はパック・袋詰め販売を行って、混雑の緩和や接触機会の削減に取り組んでいる。

・人の密集を避けるため、混雑につながるような販売促進策を自粛したり、店舗の規模や立地条件等の実情に応じて滞留時間短縮・オフピークタイムでの来店、少人数での買い物の呼びかけ等を行っている。

・イートインスペースや休憩スペース・フードコートを使用する場合のテーブルの配置や間隔の確保に留意して、「三つの密」を避けるようにしている。

・お客さまが入店する際には、発熱やその他風邪の症状がある場合の入店自粛、マスク着用や必要に応じた手指の消毒等への協力を呼びかけている。

・お客さまと従業員に対して、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の利用を促している。

２．従業員の感染予防・健康管理

□以下の取組み例を踏まえつつ対策を講じることにより、従業員の健康と安全・安心の確保に取り組んでいます。

**《ガイドラインに記載されている取組み例》**

・感染症予防に関する基本的な知識の周知、感染防止に必要な指導・教育を行っている。

・マスク等の着用、こまめな手洗い・手指消毒を励行している。

・従業員が、他の従業員やお客さまとの一定の距離を保つことができるような業務方法や導線について、点検、指導を行っている。

・従業員用の休憩所や事務所等のバックヤードでの「三つの密」を避けるための対策として、共有電話等の複数の従業員が触れる箇所・機材等の定期的な消毒等、実情に応じた感染予防に取り組んでいる。

・お客さま対応に伴う精神的負荷も含めて、従業員の日々の健康状態を把握したり、咳エチケットの徹底、出勤前の体温測定や自覚症状の確認等の指導に努めている。

・体調が優れない場合に休みやすい環境づくりに取り組んでいる。

・店舗・施設に出入りする事業者に対して、感染予防・健康管理を促している。

３．買物エチケットに係るお客さまへの協力依頼・情報発信

□買物エチケットについて、以下の取組み例を踏まえつつ、お客さまに対する協力依頼とわかりやすい情報発信に取り組んでいます。

**《ガイドラインに記載されている取組み例》**

・店舗内や精算を待つ際に一定の距離を保ったり、少人数での買い物すること等について協力を呼びかけている。

・発熱やその他風邪の症状がある場合の入店自粛、入店時のマスク等の着用、咳エチケットの徹底等の対策について、協力を呼びかけている。

・従業員とお客さまの接触機会を減らして飛沫感染を防ぐように取り組んでいることにより、接客対応やサービス水準がこれまでのものと異なることがあったり、一時的な商品の品薄や必要に応じて点数制限による販売が行われることがあること等について、お客さまの理解促進に努めている。